

研究種別	成長戦略研究	
研究課題名	採卵鶏における快適性に配慮した飼育方法の生産性評価	
研究期間	令和2年度 ~ 令和4年度	
	評価項目	平均点
1	研究計画の進捗度	4.4
[コメント] 研究計画通りに進行しており、研究目的通りのデータが得られていると考えます。 ケージ、エイビアリー、平飼いでの生産性の違いもデータ化されており、それぞれの特徴を取りまとめて欲しい。例えば、エイビアリーの場合には採卵鶏の攻撃行動が緩和される、平飼いの場合には抗病性が増すなど。 委員の方のお話だと、飼養面積が十分確保できていない中で平飼いをおこなっている生産者もいるとのこと。真にアニマルウェルフェアに配慮した場合とそうでない場合の、卵質の違いなども明らかになると、消費者に訴求できると考えます。		

研究種別	成長戦略研究	
研究課題名	甲州牛増産のための集約的採卵プログラムの確立	
研究期間	令和2年度 ~ 令和4年度	
	評価項目	平均点
1	研究計画の進捗度	4.2
<p>[コメント]</p> <p>甲州牛の生産拡大の基礎となるのは、増頭・増産を可能にする繁殖技術であり、本課題はそれに該当します。</p> <p>研究は計画通り以上に進行していると考えます。</p> <p>ただ、生産性向上を考えるあまり、供卵牛に負荷が掛かりすぎていないか(卵巣の回復が不十分になっていないか)、受精卵の品質に問題がないか、この受精卵を使用してできた子牛の飼養成績に影響はないか、等が気になります。</p> <p>こうした情報も合わせて成果を見せて頂ければと考えます。</p>		

研究種別	一般研究	
研究課題名	ホルスタイン種における簡易的な採卵プログラムの確立	
研究期間	令和元年度 ~ 令和5年度	
	評価項目	平均点
1	研究計画の進捗度	4.0
[コメント] 研究は計画通りに進行していると考ええる。 本研究は、優良後継牛の安定的確保と繁殖に係わる省力化に結びつく研究と位置付けられる。 協定研究の中で実施しているとのことで、他の公設試のデータと比較し、同時に安全性も検証しながら、省力的な採卵プログラムが確立されることを期待する。		